

2号機燃料取扱設備及び燃料取り出し用構台の設置に伴うサブドレンNo.21の移設について

2022年 8月 23日

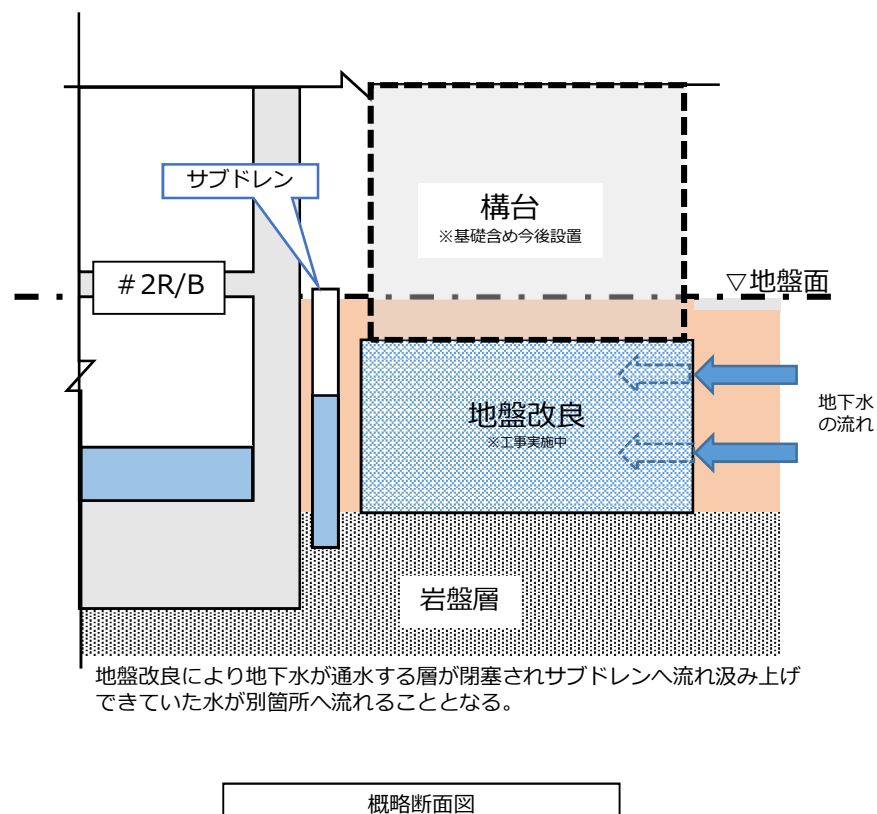
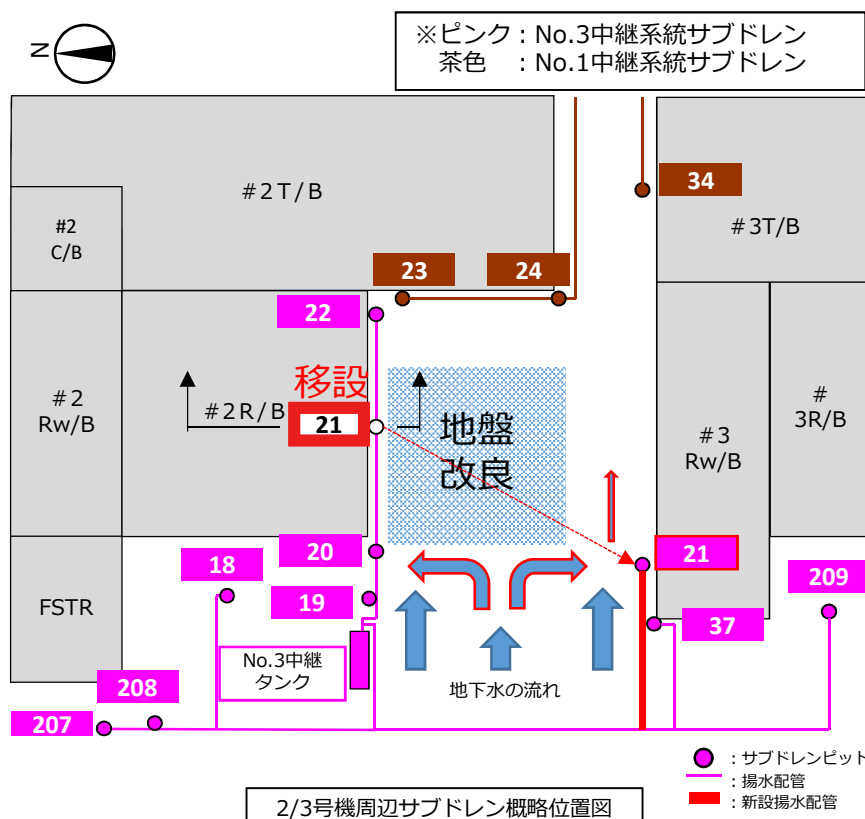
TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

サブドレンNo.21の移設の概要と目的

■ 概要と目的

- 2号機使用済燃料取り出しに伴い2号機R/B南側ヤードへ構台設置を計画し周辺の地盤改良をおこなうこととなった。
- 地盤改良によりこれまで2号南側ヤードに流れ込んでいた地下水の一部が3号側へ流れ、3号機側の汚染水発生量を増加させる可能性があり、汚染水抑制のため地下水の流れ込みが減るサブドレンNo.21ピットを移設し対策をおこなう。なお、2号機側については、地盤改良の山側に設置されているサブドレンNo.19・20ピットにおいて汲上げ対応が可能である。
- 具体的な移設位置については、地下埋設物等の干渉を確認し選定している。



移設後の設備の概要

■ ポンプ台数

【全46ピット：増減なし】（既設ピットは、移設に伴い廃止し、ポンプ総数の変更無し）

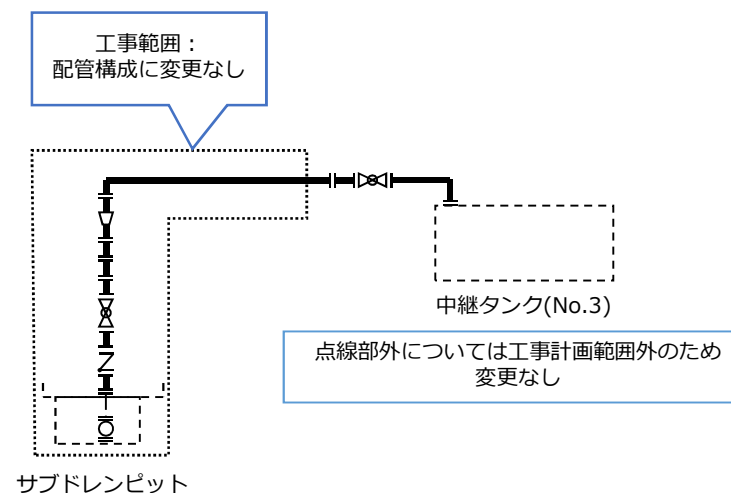
- 既設ピットは、揚水ポンプを取外し、既設ラインから切り離す。水位計は移設する。サブドレンピット移設に伴う廃棄物発生量を抑制する為、設備の流用を検討する。

■ 汲上げ容量

【30 L/min】（ポンプ仕様の変更無し）

■ 使用する配管についても、既設同仕様で構成。（配管構成についても変更なし）

名称	仕様（今回の工事での変更無し）	
サブドレンピット内 （ポリエチレン管）	呼び径 材質 最高使用圧力 最高使用温度	32A相当 ポリエチレン 0.48MPa 30℃
サブドレンピット出口 から 中継タンク入口まで （ポリエチレン管）	呼び径 材質 最高使用圧力 最高使用温度	40A相当 ポリエチレン 0.98MPa 40℃
（鋼管）	呼び径／厚さ 材質 最高使用圧力 最高使用温度	32A/Sch.40,40A/Sch.40 STPG370, SUS316LTP 0.98 MPa 40℃



■ 汲上げ水移送先

【No.3中継タンク】（中継タンク系統の変更無し）

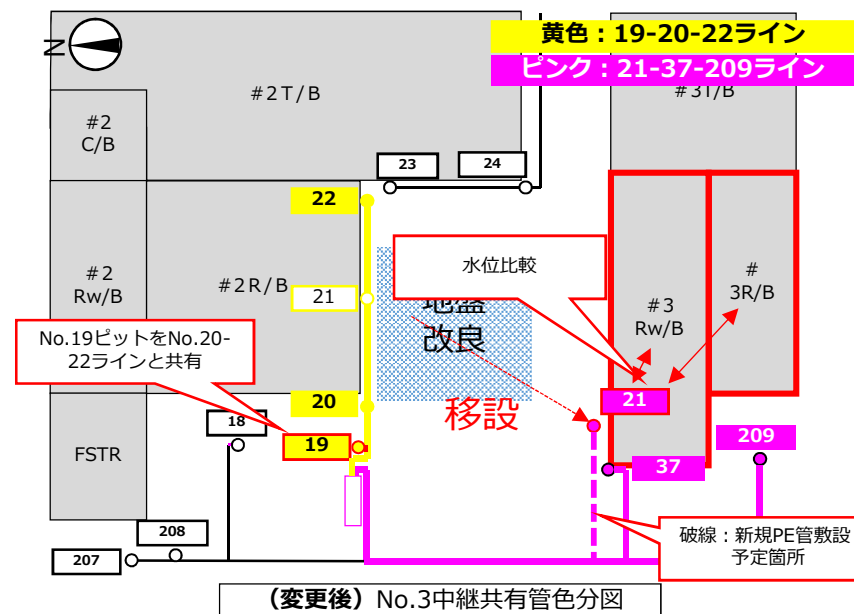
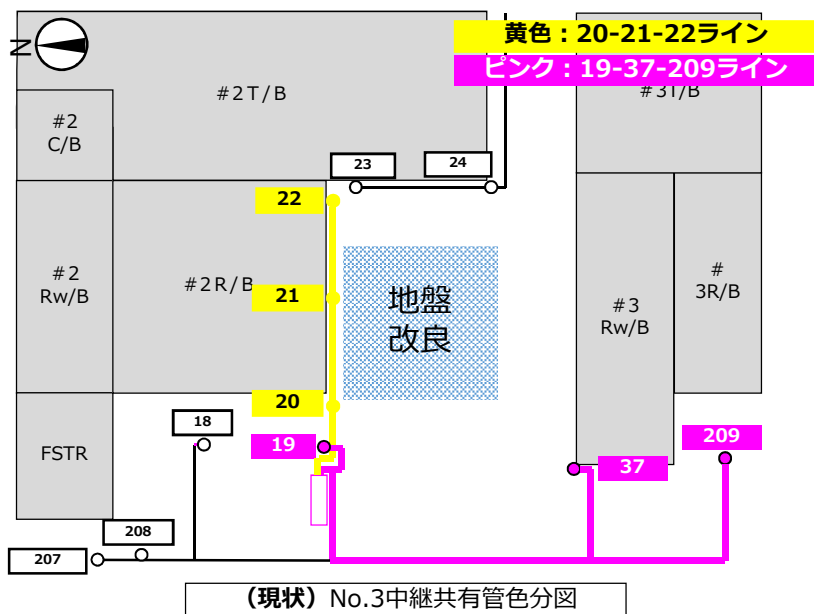
■ ピット（井戸）径 [実施計画記載なし]

- 移設後のピット（井戸）については、増強（大口径ピット）同等のΦ1,000で計画。既設ピットΦ1,200から変更となるが処理対象水の量が大幅に変化しないため、井戸径変更による後段浄化設備等への影響はない。

- サブドレンピット位置の変更
 - 移設計画先にサブドレンピットを移動させ配置・系統図を適正化する。

- ピットから中継タンク間の共有管ピットの変更
 - サブドレンNo.21ピットを3号機側へ移設後、PE管長さを短く（合理化）対応する為、共有管のピットを変更。（ピットの単独化・中継タンクヘッダ化は計画しない）

- 建屋水位比較
 - 3号機側へサブドレンNo.21ピットを移設するため、建屋水位比較対象について3号機R/B・Rw/Bに変更。



【参考】サブドレンNo.21ピットの移設における実施計画変更箇所



実施計画Ⅱ記載箇所		変更内容	
		記載箇所	変更の有無と内容
本文	2.35.2 基本仕様	揚水ポンプ台数	変更無し
		主配管仕様	変更無し
添付	2.6.添付資料-1 系統概略図	サブドレンピット概略配置図	変更有 移設位置に合わせ記載を適正化
	2.35.添付資料-1 全体概要図及び系統構成図	サブドレン集水設備系統図	変更有 移設位置に合わせ記載を適正化
	2.35.添付資料-4 サブドレン集水設備の強度に関する説明書	配管概略図	変更有 共有管の適正化
		配管の評価結果	変更なし
2.35.添付資料-12 サブドレン他水処理設備に係る確認事項	確認対象ピット	変更なし	

実施計画Ⅲ記載箇所		変更内容	
		確認項目	補正申請
	3.1.7.1 滞留水とサブドレンの水位管理について	建屋内外の水位比較範囲	変更有 移設位置に合わせ記載を適正化
	3.2.1 添付資料-2 サブドレン他水処理施設の排水に係る 評価対象核種について	処理前水, 処理済水の告示濃度限度比	変更なし